

平成 27 年度監査報告書

平成 28 年 5 月 23 日

社会福祉法人小さい共同体
飛翔クラブ・相談支援センターこだま
理事長 小石恵子殿

監事 内田庸子



私は、社会福祉法人小さい共同体飛翔クラブ・相談支援センターこだまの平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）の業務について監査を行いました。その結果につき、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法と内容

私は理事会及び評議会に出席するほか、施設長からその職務執行状況について説明を受け、業務状況を調査いたしました。以上の方法に基づき当該事業年度に係る事業報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

事業報告書の監査結果

事業報告書は法令及び定款に従い、社会福祉法人小さい共同体飛翔クラブ・相談支援センターこだまの状況を正しく示していると認めます。

この写は原本と相違ないことを証明します。

平成 28 年 6 月 27 日

社会福祉法人小さい共同体 理事長 小石恵子



平成27年度監査報告書

平成28年5月19日

監事 清水 陽子



平成27年度の監査として、平成27年4月1日から平成28年3月31日の期間の会計監査について、下記の通りご報告致します。

記

1. 財務諸表等について
適正に処理されており、特筆すべき点は見当たらなかった。
2. 事業収入について
古紙・資源回収事業収入及び訓練等給付費収入の単価増額があったこと、また計画相談事業に積極的に取り組んだことにより、当初予算に比し事業収入が大幅に増えた。
3. 事業支出について
就労支援事業支出を除き全て予算内の支出に収まっている。
事業活動以外では、当初予算想定外の支出として、計画相談用 PC・書庫の購入及び平澤氏に関する裁判所への預け金の支出があった。
4. 不正経理に係る返済について
故・平澤氏不正経理に係る当時の利用者に対し月々分割により返済を行っているが、対象となっている利用者の所在が不明であるため返済できない金額がある。
5. 当期末支払資金残高について
故・平澤氏に対する債権については大半が回収不能となる見込みであるが、前2・3項の要因により当期末支払資金残高が増加しており、利用者への返済は滞りなく行える見込みである。

以上

この写は原本と相違ないことを証明します。

平成28年6月27日

社会福祉法人 小石の共同体

理事長 小石 恵子

